

# Victory

NO.8

令和5年12月

宮崎県立宮崎西高等学校・附属中学校図書館

師走。今年もあとわずかとなりました。

今月12日(火)の宮日新聞に中学生人権作文コンテスト県大会で最優秀賞を受賞した1年の蛭原暖さんの作文「通学中の思いやりの視点」が掲載されていました。4月からバスと電車を利用して通学する中で遭遇したエピソードから思いやりについて3つの観点で自身のあり方を振り返り、考え、当事者意識を持ち行動していく姿に清々しさをおぼえるとともに、私たち読者にも問いかけてくる言葉に重みと深さを感じました。



ふと、読書バリアフリーについて思い起こしました。みなさん、この言葉を知っていますか？2019年6月に成立した法律です。図書館は、誰もが読書ができる社会をめざして読書のカタチを選べる環境整備をより具体的に行っています。視覚・聴覚はもとより、肢体不自由者そして精神疾患など、その対象は多岐に渡ります。図書館は、誰ひとり取り残さないサステナブルなサービスを展開する場であることをみなさんに知ってもらうコーナーを今後作っていかうと思います。社会福祉はもちろん教育の公平性、健康を守る医療現場等あらゆることはすべてつながっていることを認識し、新たな年を迎えたいと思います。

## 長期貸出週間のお知らせ

貸出期間：12月18日(月)～22日(金)

貸出冊数：無制限！！

返却日：2024年1月10日(水)～12日(金)

## Christmas gift books to you



From Student librarians

この冬も図書委員が愛を込めてみなさんに本のプレゼントを用意しました。どんな本との出会いがあるかはカードを読んで選んでね！

素敵な出会いがありますように。

限定32個！お早めに！！

【メッセージカード一部紹介】

- \*寒い冬に背筋が凍りたいあなたへ
- \*ストレス溜まる毎日。キラキラ足りてないんじゃないですか！？
- \*クリスマス、今年も独りで過ごすあなたへ…
- \*聖なる夜に何かいいことを一つ。100%趣味で選ばれた3冊を(怪異事一つまみ)
- \*思考実験・幽霊と科学・心理学      \*痛快的な笑いと言肉な笑い
- \*お腹も心も満たされる本たち
- \*命について考える…まったく系統の違う3冊。混ぜるなキケン！！



## 棚からひとつかみ「バリアを解く」



『デフ・ヴォイス 法廷の手話通訳士』B913.6マ

丸山正樹 著(文藝春秋)

デフ・ヴォイスとは、ろう者の声(手話のこと)。主人公は家族の中で唯一の聴者つまりコーダ(耳が聞こえないあるいは聞こえにくい親のもとで育つ子ども)。前職を辞め、手話通訳士の資格を取った彼にある日、手話通訳の依頼が来る。それは、留守宅に不法侵入した容疑者であるろう者の法廷通訳だったが同時に過去の事件と向き合うことになる。本書は、ミステリーだがろう者そしてコーダのこと、手話の種類など学ぶところの多い作品だ。



# 図書館を活用した授業

## 中3：感性の時間

前回の Victoryでお知らせした、アニメーション（聞き書き、一枚の絵から作る100文字ストーリー）を終えての感想を紹介します。

\*①はじめたとき、②終わったときの感想

- ① 物語の創作って難しそう。
- ② 日常に転がっているエピソードや出来事、景色からでも話をふくらませて立派な物語をつくるができる。今回のアニメーションを物語創作に生かしていきたい。

- ① 絵から物語を作るなんて楽しそう！
- ② 人によって絵から思ったことが全然違って、こんな考え方もあるのかとおもしろい発見が多かった。

- ① 物語の内容を膨らませるのが大変だった。
- ② 決められた字数で文を作るのは難しかったが楽しかった。

- ① 短時間で面白い話が作れるか不安だった。相手から聞いたことをもとに話を書くのが難しそうだったと思った。
- ② 物語に引き込まれるような始めの一文を作るためのいい例を知ることができた。難しかったけど楽しかった。自分の考える物語の世界が広がっていく感覚がおもしろかった。

- ① ちょっと難しそうだな。
- ② 意外と難しくない。他の人の物語を聞いてもう一回考えてみると、さらに新しいアイデアが浮かんできた。もう一回してみてもいいかなと思った。

- ① イラストから何も思い浮かばず難しかった。
- ② いろんなアイデアがあって、すごく面白かった。もっと頭をやわらかくしたい。



扉を開こう。新たな世界が君を待っている。

### 第11回高校生直木賞 参加者募集！！

高校生直木賞ってなに？

著名な作家が選考委員となって毎年受賞作が決まる直木賞ですが、その選考を高校生の視点で行う取り組みです。フランスのゴンクール賞を参考にして始まりました。

対象作品は、直近一年間の直木賞にノミネートされた作品。それをすべて読み、その中から自分たちが高校生直木賞にふさわしいと思う一冊を選びます。

本校は、今年初めて参加しました。勉強や部活で忙しい中、5名の有志が集まり、それぞれの本の感想・意見を述べ合い、西高の候補作を選び、代表1名が地方予選でディスカッションし、そのブロックから全国大会出場権を獲得、全国から選ばれた仲間と熱いディスカッションを展開。最後にその年の高校生直木賞を決定。第10回高校生直木賞は、『汝、星のごとく』（凧良ゆう著）でした。

読書の好きなあなた、待ってます！！ぜひ、挑戦してみましょう。

参加希望者は、図書館の小原まで。締め切りは、12月26日（火）

第11回のスケジュールは以下のとおり。

【4月21日（日）13時～】オンライン地方予選

【5月19日（日）13時～】全国大会（リアル開催予定/オンライン併用）

\*高校生直木賞について詳しく知りたい人はHPをチェック！

高校生直木賞公式サイト <https://koukouseinaoki.com>

\*第10回の参加生徒の感想も  
以下から見るができます。

\*オール読物7月号掲載・伊藤氏貴先生  
による「第10回高校生直木賞レポート」も公開中です。

